

松原岩五郎 まつわら いわたら 小説家、評論家。慶應二年八月十五日伯耆國生れ、  
昭和十年二月二十六日歿（一八七一—一九三五）。號乾坤一布衣、一十二橋堂  
主人、一十二階堂主人、廿二階堂主人、岫雲等。内田魯庵、一葉亭四  
迷を知り、明治二十五年新聞「國會」を経て「國民新聞」入社。日清  
戦争の従軍記者として活躍し、のち民友社文學部長。一二十四年博文館  
の「女學世界」編輯長となる。貧民窟の探訪記などが有名。

著書「おのくし妻」（一十二橋堂主人名、明治二十四年四月）、「春陽  
堂」文學世界「一」、一「征露餘録」（明治二十九年二月）、「一十二民友社  
」青年叢書「號外」、一「社會各方面」（乾坤一布衣名、明治二十年五  
月）、「一十二民友社」、一「商海奇運談」（編者、明治二十二年十一月）、「一十二  
民青年と志社」、一「新撰東洋歴史問答」（五版、明治二十七年十一月）  
、「一十二民友社」等。